

びるめん ニュース あいち

Vol.345

2018 / 1

一般社団法人
愛知ビルメンテナンス協会
AIBMA

Building Maintenance News AICHI

発行・編集

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会 広報・会員増強委員会

E-mail aichibm@ilac.ocn.ne.jp / URL <http://www.aichi-bma.jp>

〒460-0008 名古屋市中区栄2-1-10 伏見フジビル8階

TEL 052-265-7536 / FAX 052-265-7537

今月の視点

新年挨拶

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会
会長

加藤 憲司

新年、明けましておめでとうございます。

日頃よりご指導いただいております関係官庁、関係の各団体、そして会員の皆様におかれましては、清々しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私どもの業界を取り巻く環境は年々厳しくなっていると云えます。昨年10月にも最低賃金は再び3%強アップし、更に政府が進める「働き方改革」による残業時間の抑制や同一労働同一賃金は、当業界に大きな影響を及ぼすものと思われます。こうしたことも影響してか、人手不足の状況は年々厳しさを増し、新規の採用は困難を極め、やむを得ない雇用延長による従業員の高齢化も大きな問題となりつつあります。

また、ビルの大型化や複合施設化により、当業界は更なる高度な技術力、管理能力の強化を求められています。東京オリンピックに向けて、高度大型ビルの建設は一層拍車がかかってまいります。今こそ当業界は人手不足の中ではありますが、新たな管理手法、技術力を身につけ、お客様のニーズに応じていく体制を早期に構築しなくてはなりません。

そうしたことを背景に、私は会長として次の三つを目標に向けて活動していきます。

一、協会会員の増強を図る

昨年10月より今年3月まで、「会員増強キャンペーン」を実施させていただき、入会金も大幅に減額して募

集しています。

三大都市圏の協会として、会員数や活動内容においても他協会にひけをとらない組織とすべく、会員皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

一、委員会活動の更なる活性化

各委員会が、今年も新しい取組みにチャレンジし、魅力ある委員会活動の実現に努めていきます。また、新たに品質向上特別委員会を発足させ、全国ビルメンテナンス協会が進める「入札改善モデル事業」のモデル県としてスタートさせていただきました。関係各位のご理解のもと、少しでも改善に結びつくよう委員会活動をしてまいります。

一、新時代への挑戦

昨年、経済産業省のご支援のもと、「ロボットマッチング・イン愛知」を開催させていただきました。今年も引き続きこうした新時代に向けての新機材や新商品のご紹介を通して、新しい手法の開発に力を注いでまいります。

以上、今年には特に三つの目標を、会員の皆様のご理解とご支援をいただき、力強く進めてまいりますので、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

この一年が皆様にとりましてより良い年でありますことを心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新春を迎えて

愛知県知事

大村 秀章



あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様方にとりまして、素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、愛知総合工科高等学校専攻科の公設民営化や、遠隔型自動運転システムの実証実験、「あいち航空ミュージアム」のオープンなど、全国初となる取組、愛知ならではの取組に果敢にチャレンジし、大きな成果を上げるとともに、アメリカのケンタッキー州やインディアナ州、ベルギーの3地域、インドネシアの経済調整担当大臣府とそれぞれ相互協力等の覚書を締結し、海外とのパイプを一層強固にした1年でした。

また、世界に誇る日本のオリジナルコンテンツであるスタジオジブリ作品をテーマとした「ジブリパーク構想」の具体化に向け、大きな一歩を踏み出した年でもありました。

今年も、様々な取組を積極的に進め、愛知の総合力に更なる厚みを加えていくとともに、未来へと続く取組を、愛知の発展の種として、しっかりと芽吹かせ、着実に育てていく1年にまいります。

そのためには、2027年度のリニア開業に向けた鉄道・道路ネットワークの強化など、中京大都市圏づくりを着実に前進させるとともに、次世代自動車、航空宇宙、ロボット・AIなどの次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、農林水産業の国際競争力の強化、愛知の魅力の発信と観光振興、来年秋開業を目指す国際展示場の整備などに取り組み、愛知の産業競争力を一層強化してまいります。

また、ジブリパークについては、愛・地球博記念公園での2020年代初頭の開業を目指し、夢とファンタジーあふれるジブリの世界を再現したオンリーワンの施設を創り上げていけるよう、しっかりと取組を進めてまいります。

そして、こうした取組以外にも、認知症にやさしいまちづくりを目指す「オレンジタウン構想」や子どもの貧困対策の具体的な取組の推進、スポーツ・文化芸術の振興、教育・人づくり、地震津波対策や交通安全対策、「環境首都あいち」の取組、東三河地域の振興などに力を注ぎ、「日本一住みやすい愛知」づくりを進めてまいります。

今年も、「日本一元気な愛知」「すべての人が輝く愛知」の実現を目指し、県民の皆様へ、笑顔で元気にお過ごしいただけるよう全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成30年元旦

“世界に認められる 大都会 ナゴヤへ”

名古屋市長

河村 たかし



あけましておめでとうございます。

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、本市はフランス・ランス市と姉妹都市提携を結びました。ランス市は、歴代国王の戴冠式が行われたノートルダム大聖堂など、幾つもの世界遺産を有する歴史と文化の街であります。今後、観光面での相互PRをはじめ、幅広い分野で交流を進めてまいります。

さて、日本を訪れる外国人旅行者が年々増加する中、政府は「2030年に6,000万人」との目標を掲げております。本市としても多くの旅行者に訪れていただけるよう、都市魅力の磨き上げが必要と考えます。

名古屋城は、三英傑や配下武将にゆかりのあるナゴヤにとって観光の核となる存在です。昨年、天守閣が本物木造復元に向けて歩みはじめ、本年6月には本丸御殿の完成公開を予定しております。私としては、将来、名古屋城がノートルダム大聖堂と並ぶ世界遺産となれるよう、全体の整備を進めてまいります。

一方、本市を訪れる旅行者に「来てよかった」「また来たい」と思っていたくためには、「食」の満足度を高めることも重要です。本年3月には、名古屋城エリアに「金シャチ横丁」が開業予定であり、ナゴヤのおもてなしには欠かせない「なごやめし」などもお楽しみいただけます。この魅力ある食文化を市内の至るところで体感していただけるよう、本市としてもさらなる盛り上げを図ってまいります。

今後は、東京オリンピック、アジア競技大会、リニア開業など、ビッグプロジェクトが目白押しです。これらをナゴヤの発展に確実につなげるためにも、産業競争力の強化や福祉の充実、子どもと親を日本一応援する施策など、様々な分野で積極的な投資を行うことが重要であります。そして、その魅力を全世界に強力に発信し続け、世界中から人や企業が集まる「世界に認められる大都会」に向けて取り組んでまいり所存です。ゆくゆくはロンドン、ニューヨーク、パリと並び称されるナゴヤとなれるよう、チャレンジしてまいります。

本年が皆様にとりまして、素晴らしい飛躍の年となりますことを、心からお祈り申し上げます。

平成30年元旦

新春のご挨拶



愛知労働局長
木暮 康二

平成30年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

年の初めに当たり、改めて皆様の日頃から労働行政の運営に対するご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、愛知の雇用労働の状況と今年一年の所信の一端を述べさせていただきます。

本県では、リニア中央新幹線の開業に向けた工事が本格化し、名古屋駅前やささしま地区において高層ビルが相次いで建設され、さらには国産小型ジェット旅客機の製造が進められるなど、地域経済の活性化がますます期待されております。昨年の有効求人倍率は1.8倍台と高い水準にあり、人手不足感が強くなっているところ です。

愛知労働局においては、働き方改革、非正規対策、障害者雇用対策、過重労働対策、労働災害防止対策を重点に取り組んでいます。

とりわけ働き方改革の実現は、我が国の社会経済にも大きく影響する喫緊の最重要課題であります。県内企業における長時間労働を前提としたこれまでの労働慣行や商慣行の見直しを含め、今後も、長時間労働の是正、女性の活躍推進、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現等に向けて「働き方改革」を推進して参ります。

非正規雇用については、雇用情勢が着実に改善しているこの時期を捉え、正社員転換・待遇改善に取り組んでまいります。

また、本年4月に「無期転換ルール」の申込権の発生が本格化することから、積極的にその周知・啓発を行っているところです。

障害者雇用については、企業における障害者への理解と障害者自身の自立意識の高まりにより着実に進んでおりますが、法定雇用率2.0%には達していません。本年4月には法定雇用率が2.2%へ引き上げられますので、障害のある人が自立した生活を送ることのできる社会の実現に向け、雇用対策を一層推進していきます。

今年は第13次労働災害防止推進計画が新たにスタートする年です。働く人がその能力を十分発揮して活躍していただけるよう、治療と仕事の両立支援を促進し、労働災害のない安全で安心して働くことのできる職場環境の実現に向けて取り組んでまいります。

労働保険制度については、労働者のセーフティネットであるとともに、各種施策を推進する財源基盤となるものであり、労働保険への加入と労働保険料の確実な納付が最重要課題であることから、未手続事業一掃に向け積極的に取り組んでおります。

このように多くの課題がありますが、愛知で働く人や企業、地域や家庭がより魅力的で元気になることを目指し、労働局職員一丸となって、これらの課題に取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年の御挨拶といたします。

新年を迎えて



愛知県健康福祉部保健医療局長
松本 一年

新年あけましておめでとうございます。

平成30年の新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、日ごろから本県の健康福祉行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や2027年のリニア中央新幹線の開業を視野に入れたまちづくりが進められる中で、本県では、名古屋駅周辺の再開発が進められ、昨年4月にはJRゲートタワーが、10月にはささしまライブ24地区のグローバルゲートが全面開業したところです。

このように、建築物のますますの高層化、大型化により設備の高度化や維持管理の複雑化が急速に進んでおります。また、省エネに係る制度の強化や意識の向上など、建築物をとりまく状況が変化しています。このような中、建築物を利用する人の健康や環境に配慮した衛生管理を推進するため、貴協会の会員であるビルメンテナンス業者の皆様方の役割が、より一層重要なものになってまいります。

貴協会におかれましては、その前身であります「中部ビルメンテナンス協会」が昭和39年に設立されて以来、約半世紀にわたって、建築物の衛生的な環境及び安全の確保に向け、正しく専門的な知識と技能の普及促進に御尽力いただいていることに、深く感謝申し上げます。

本県といたしましても、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づき、建築物の衛生水準の維持、向上のため、継続して衛生管理の徹底を図ってまいりますので、今後とも、御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

また、本年2月1日(木)には、名古屋市教育センター(熱田区)において、貴協会を始めとする建築物衛生関係6団体との共催により、第32回愛知県建築物環境衛生管理研究集会を開催いたします。会員の皆様方におかれましては、建築物における衛生的環境の確保について、理解を深めていただく良い機会でもありますので、是非とも御参加くださいますようお願い申し上げます。

最後に、本年の皆様のご多幸と御健勝を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

新春を迎えて



愛知県警察本部生活安全部長
鈴川 信視

新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

愛知ビルメンテナンス協会の皆様には、旧年中、施設警備業務を始めとする日々の警備業務を通じまして、犯罪や事故の未然防止活動に真摯に取り組んでいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

また、ビルメンテナンス業務を専業とされている会員の皆様にも環境の整備を通じまして、犯罪の起きにくい社会づくりにご協力いただいておりますことに重ねて御礼申し上げます。

さて、愛知県警察におきましては、『「安心」して暮らせる「安全」な愛知の確立』を警察運営の基本目標に掲げ、犯罪の抑止活動を推進しているところでありますが、治安のパロメーターでもあります刑法犯認知件数は、減少傾向で推移しております。

しかしながら、昨年は住宅を狙った空き巣などの住宅対象侵入盗は減少したものの、閉店後の飲食店などを狙った出店荒しが大幅に増加するなど、「侵入盗」は、一昨年に引き続き全国ワースト1位となるなど、県民の皆様が安心・安全な暮らしを実感していただける状況には至っていないものと考えております。

あわせて、特殊詐欺の被害につきましては、大幅に減少したものの、ハガキとSMSを騙しのアプローチとする架空請求詐欺が一昨年を上回る勢いで増加するなど依然として厳しい状況にあります。

警察といたしましては、これらの犯罪を抑止し、県民の皆様の「安心・安全」を確保するため、犯罪情勢に即した実効性のある抑止対策の強化に取り組み、防犯意識の高いまちづくりの実現に向けた各種施策を推進してまいり所存であります。

県内においては、警備業者約750社、33,000人を超える警備員の方々がその業務を通じて犯罪や事故の未然防止、検挙協力などに多大な貢献をされており、2019年ラグビーワールドカップ日本大会、更には2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における活躍が大いに期待されております。

貴協会におかれましても、ビルメンテナンス事業における各種講習会等を通じて、各分野における専門的知識、技能の向上を図っていただくとともに、警備業界の発展にご尽力されることを期待するものであります。

また、会員の皆様におかれましては、厳しい治安情勢をご理解いただき、本年も引き続き県民の「安心」・「安全」のためにお力添えいただきますようお願い申し上げます。

最後に、愛知ビルメンテナンス協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成30年元旦

年頭のご挨拶



名古屋市消防長
木全 誠一

新年明けましておめでとうございます。

平成30年の新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

愛知ビルメンテナンス協会員の皆様には、日頃から市民の安心・安全のため献身的にご尽力いただき、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は7月に台風3号の影響により、福岡県や大分県を中心とする九州北部に甚大な被害をもたらし、30名を超える多くの尊い命が奪われました。自然災害は、突発的に発生し想定を超えて襲いかかることを改めて認識し、消防行政の災害に対する構えを、組織を挙げて強化していかなければならないと考えさせられる年となりました。

なお、地震については平成29年11月1日、気象庁から「南海トラフ地震に関連する情報」を発表することとなりました。この情報が発表された場合、消防局においては、発表された情報の内容及び政府の対応状況を踏まえた所要の対応が取れるよう、体制の整備を行っているところでございます。

しかし、地震による被害から市民の命を守り、市民生活への影響を最小限に留めるためには、我々公的機関が行う「公助」だけでなく、自分や家族の命を自ら守る「自助」、地域や事業所などが共に助け合う「共助」が連携し、平時から地域防災力をさらに強化していくことが大変重要となっています。このことから、まずは命を守るために家具等の転倒・落下防止対策をしていただくようお願いしております。また、家具の固定ができるボランティアを養成し、高齢者などのご自宅に派遣し、家具の固定を行う事業にも取り組んでいる次第です。

また、火災に目を向けますと、昨年2月に埼玉県三芳町において鎮火までに13日を要した大規模な倉庫火災が発生いたしました。名古屋市における火災件数につきましては、減少傾向となっておりますが、火災により亡くなられる方の数につきましては横ばいです。火災による被害の更なる軽減を図るため、ご家庭における住宅用火災警報器の適切な設置、維持管理に係る広報及び事業所に対する防火防災管理者等の教育などを重点課題と認識し、火災予防の効果的な推進を行って参りますのでご協力をお願いいたします。

本年も消防・防災行政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会並びに貴会員各位の益々のご発展、ご活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年もよろしくお願ひします。



副会長
水藤 維人



副会長
吉田 治伸



副会長
服部 弘司



理事
田中 宏



理事
新原 正也



理事
山口 義浩



理事
勝野 英雄



理事
首藤 健



理事
福岡 輝道



理事
堀口 弘



理事
酒井 秀京



監事
大澤 隆



監事
加藤 義幸



監事
小林 昇



相談役
武村 節雄



相談役
吉田 銑三

～新春座談会～

障がい者の就労支援に向けて「障がい者雇用により、企業風土 働く人が変わる！」

障がい者支援特別委員会

2017年4月に、愛知県名古屋高等技術専門校から知的障がい者向け職業訓練「総合実務科」の「清掃作業」訓練の講師派遣依頼が愛知協会に届き、カリキュラムの作成や指導講師の調整打合せを経て、6月14日から9月22日までの10日間、指導の専門員の方3名と訓練生8名の方に清掃道具の基本的な使い方などを教育訓練致しました。今回が初めての訓練となり、指導頂いた講師の方に、感想と今後協会として取り組まなければならない課題についてディスカッション頂きました。



吉田 治伸 委員長
(コニックス株)

今回が初年度ということもあり、若干の準備不足はありましたが、訓練を行っていく中で、訓練生の方の成長が感じ取れ、楽しく参加させて頂きました。

テキストは、「エル・チャレンジ清掃技能テキスト(全協監修)」を使用しましたが、指導する上で伝わりやすく良かったと思っています。ただ、訓練に使用する資機材は、もう少し前段階ですり合わせを行い、例えば、障がい者技能競技会で使う道具にするなど、基準を定めた方が他校での開催を考えても、今後の展開がスムーズになるのではないかと思います。



田中 宏 委員
(株建光社)

また、せっかく「清掃作業」という訓練内容が新たに加わったのですから、就職に繋がるように、受入先の開拓まで協会が関わる必要があると思います。

障がい者を雇い入れるということは、会社の中に助け合いが生まれ、この人を何とかしようという優しい気持ちが育まれる効果があります。将来的には入札要件に障がい者雇用率が含まれると思いますし、社員の求人にも障がい者を多く雇用している企業としていない企業に差が広がると感じております。



鵜飼 晃規 委員
(昭和建物管理株)

障がい者の方には、楽しく教えないと雇用の推進や定着に繋がりません。以前ですが、この人は問題ないと判断から現場に入ってもらったところ、初日にパニックを起こしてうまくいかなかった経験があります。

今回の10日間の訓練の中で、私たちが教えた1週間後にどれ

だけ訓練生の方が理解しているかフォローに伺いましたが、その間の先生方の苦勞を私たちは見ておりません。本当は、この過程を学ぶべきではなかったかと思っています。

障がい者を雇い入れるためにどうすべきかを受け入れ企業と共に学び、障がい者雇用を促進するためにも、協会は企業との橋渡しをしっかりと行わなければならないと強く感じました。

親御さんや学校からの情報提供も必要となり、とくに、親御さんとのつながりは大切にしなければなりません。親は何年も務められる会社に入りたいと心配しており、この業界に入っても安心できるように、協会のバックアップが求められるのではないかと思います。

今後は4月に訓練をスタートし、8月までに基礎を教え、9月からインターンシップを行い、11月から復習をして、受け入れ企業が確認をしてから就労となる流れを作らないといけないと感じています。

今は「人の役に立ちたい」と思っている人が増えており、カリキュラムの中にきれいになった喜びや、人の役に立ったことを実感できるような工夫が大切であり、例えば、学校の中をきれいにして、その成功体験を経験してもらうことで、業界に入ってからやりがいにもつながると思います。

人は「楽しく」思ったり、「うれしい」と感じた仕事を好きになり、続けられると思います。

清掃の仕事に就きたくなるような気持ちを育むために、アビリンピックの映像や実際の現場見学をカリキュラムに入れて、興味を持たせてもいいのではないのでしょうか。

さらに、会員企業の現場で作業している人に訓練を見てもいい、興味を持ってもらうことで受け入れ企業も増えていくのではないのでしょうか。

清掃の楽しみを知り、ビルメン業界に入りたくするような訓練内容を考えつつ、その裾野を広げていく為にも、まずはその仕組みを作り、次年度に向けての「成功例となるよう」学校側とも協議しながら、楽しい「カリキュラム」をしっかりと考えて進めていきたいと思えます。

会員の皆さんの協力をお願いして、まとめさせていただきます。



吉田 一仁 委員
(中日コプロ株)



坂口 菊生 委員
(タイガー総業株)



田中 哲也 委員
(コニックス株)

愛知県立名古屋高等技術専門校より...

今回、清掃のプロの指導者の方から教えていただいたことは、訓練生にとって様々な面で自信につながったのではないかと感じています。

障がいを持った方々は、個人によって得意・不得意があり、能力の差も大きいいため、同じ訓練でも個人に合った方法で指導する必要があります。また、技能について「言葉」だけで覚えるのではなく、「体」を使って定着させていくことが大切です。

このため、言葉による説明とともに、一つの作業を「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめる。」を繰り返すことが効果的と考えております。

愛知ビルメンテナンス協会の指導講師の方々には、訓練生一人ひとりにご指導いただきました。また、ご指導いただいた作業内容を私どもが繰り返し指導することで、訓練生の技能の定着に効果がありました。

今回は本当にありがとうございました。

平成29年度 労働安全衛生パトロール実施結果

労働安全衛生委員会

実施時期 平成29年11月6日(月)～11月16日(木) 延べ8日間

実施場所 清掃管理業務を行っている7か所、設備管理業務の2か所及び施設警備業務1か所の事業所等計10か所の事業所

実施方法 労働安全衛生委員会の委員2名1組で各事業所を訪問し、労働安全衛生に関するチェック項目について、現場責任者にお聞きするとともに現地確認を実施した。なお、現場の工夫や独自の改善策などで他の会員にも参考になる事例については、現場責任者の了解をいただいた上で記録写真等を撮らせていただいた。

実施結果

(1) 現場の工夫や独自の改善策等

- ・5S運動に全員で取り組み、指差呼称シールを貼り、注意喚起の実施がなされている。
- ・作業前にTBM(ツールボックスミーティング)で注意事項の共有を図ると共に準備運動や血圧測定、食事会等で現場のコミュニケーションを図っている。また、作業エリアの色分けや、毎月の安全目標を全員で協議すると共に、会社のコメント記載もあった。
- ・鍵の紛失や持ち帰り等が発生しないよう工夫がなされていた。
- ・警備室において多くの書類も一目で分かるよう配置され、ラベルで分類しているためお客様に滞りなく対応できている。
- ・紙ベースの作業工程表に加え、控室にホワイトボードで表示しており、個々の作業箇所が明確になっている事で見える化が実現できている。
- ・清掃控室、資材倉庫、機材倉庫とも整理整頓されており、ポリッシャー等もよく手入れされ、配置方法も工夫が見られた。
- ・作業手順書の専用部清掃用は曜日欄の清掃実施曜日のみが白抜きにされて見やすくなっており、作業時間や担当者が詳細に記載されている日報も分かりやすい。
- ・漏電対応タップや針刺し防止用手袋の使用、表示看板・カートの設置位置の設定など安全に対する配慮もできており、教育も社内報等を回覧して確認している。
- ・クリーナー本体の外周部分にクッション材を取り付け、壁などを傷つけない工夫がされている。

(2) 改善提案事項

【清掃管理業務】

- ・ロッカーに耐震補強がされていないため、突っ張り棒等で補強した方が良い。
- ・清掃資材庫のスチール棚が固定されていない為、固定を検討願う。

【設備管理業務】

- ・事務所内の備品庫上のテレビモニターについて、移動転落防止処置が必要。

【施設警備業務】

- ・警備室(控室)に火報盤が設置されているが、業務外(契約外)となっているため発報時に対応できない。(スタッフは社内教育を受けているため対応は可能) 物件の性質上、避難訓練等の実施が難しいため緊急時の対応について臨機応変な判断が必要と思われる。

こども絵画コンクール 愛知協会長表彰式

社会貢献イメージアップ委員会

全国協会主催の「第11回こども絵画コンクール」に当協会も協賛しており、今年も数多くの作品を応募いただき、総応募作品508点(全国:9,829点)の中から愛知協会独自で優秀作品を審査のうえ表彰を行っております。

今回の栄えある会長賞(最優秀作品)は、名古屋市西区にあります枇杷島画塾の新谷美晴さん(1年生)が受賞されました。

12月9日(土)に同画塾を訪問させていただき、同塾で同じく入賞された、銀賞の川原遥那さん(年長)、銅賞の秋田太陽さん(5年生)、佳作の木村秀美さん(3年生)・金田茉実さん(3年生)・小川紗矢さん(5年生)に、塾長の酒井様立ち合いのもと、当協会の山口理事(社会貢献イメージアップ委員長)から賞状と記念品が贈られました。

また、全国協会の銅賞に入選された酒井萌々子さん(幼児の部)、平松葵衣さん(幼児の部)、秋田ころろさん(小学校3～4年の部)の3名の方にも、全国協会からの表彰状及び副賞が贈られました。



会長賞/新谷 美晴さん(1年生)



入選された枇杷島画塾の皆さん

新入会員あいさつ

株式会社 トップワーク

代表者・登録者 重森 智文

所在地 愛知県名古屋市名東区

高針原2-1508

TEL:052-704-7315

FAX:052-704-7316



弊社は…

私達は先進的な『キレイ』を提供し、
お客様の明日を『磨き』、
関わる人すべての『輝く』未来を創造します。

この理念を掲げ、美観の提供だけでなく、ガラスコーティングでの防汚など、定期清掃・スポット清掃を問わず、お客様の期待にお応えするよう日々邁進しております。

最近では効果90日間という脅威の除菌・抗菌システムや、アメリカにて消臭業務の国際ライセンスを取得し、多くの実績を獲得しており、自慢のスタッフと共にプロの技で日々の業務に真剣に取り組んでおります。

どうぞご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

お心当たりがございましたら、ぜひご紹介ください。

愛知ビルメンテナンス協会 会員増強キャンペーン

普通会员の入会金が...

通常入会金 ¥208,000円

15万円ディスカウント

3月末まで割引 今だけ5万円

お申込み期間 平成29年10月1日～平成30年3月31日

◇入会審査書類も簡素化を図り、さらに入会しやすくなりました。

※上記期間中に当協会「普通会员」に入会された方が対象です。

※別途:会費月額17,000円、全国協会の入会金50,000円及び会費月額10,000円が必要となります。

理事会・各種委員会

◆第9回 理事会

開催日時 平成29年12月13日(水)午後4時～6時
開催場所 協会事務局 会議室
出席者 加藤会長始め13名の出席を得て、加藤会長が議長となり審議を行った。

主な審議事項 普通会员の入会について
報告事項 (委員会報告/全協報告/地区本部報告/事務局報告)

◆第4回 障がい者支援特別委員会

開催日時 平成29年12月13日(水)午後1時30分～3時
開催場所 協会事務局 会議室
出席者 吉田委員長始め7名の出席を得て以下について協議
・全国障害者技能競技会の課題手順について
・愛知県立名古屋高等技術専門校の訓練生の就労について
・平成30年度の同上の専門校への教育訓練について

◆第3回 労働安全衛生委員会

開催日時 平成29年12月15日(金)午後1時30分～3時30分
開催場所 協会事務局 会議室
出席者 堀口委員長始め6名の出席を得て以下について協議
・労働安全衛生大会の開催について
・労働安全衛生パトロールの実施結果について
・労働安全衛生優秀作品の審査について

◆第6回 災害支援検討特別委員会

開催日時 平成29年12月18日(月)午前11時～12時
開催場所 協会事務局 会議室

出席者 新原委員長始め4名の出席を得て以下について協議
・他県協会の支援活動負担金について
・災害支援清掃道具見積について
・災害時における避難所等の清掃業務の支援に関する再調査について

◆第5回 品質向上特別委員会ワーキンググループ会議

開催日時 平成29年12月18日(月)午後2時～4時
開催場所 協会事務局 会議室
出席者 水藤委員長始め6名の出席を得て以下について協議
・議員へのプレゼンについて

◆第8回 広報・会員増強委員会

開催日時 平成29年12月19日(火)午後4時30分～5時
開催場所 協会事務局 会議室
出席者 酒井委員長始め5名の出席を得て以下について協議
・びるめんニュースの編集について
・会員増強策の広報活動について

会員の動き

平成30年1月1日現在会員数
普通会员 122社 賛助会員 20社

普通会员

年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
29.12	株トップワーク	普通会员入会	株トップワーク 代表者・登録者:代表取締役 重森 智文 所在地:〒465-0073 名古屋市名東区高針原2丁目1508番地 TEL 052-704-7315 FAX 052-704-7316
	株中部技術サービス	代表者変更	新代表取締役 朝倉 良浩 旧代表取締役 樽林 孝尚

平成30年2月の予定

如月

- 1日(木) 第32回愛知県建築物環境衛生管理研究集会
- 7日(水) 労働安全衛生大会
- 20日(火) 清掃作業従事者研修指導者講習[再](大成研修センター)

- 21日(水) 監事会、理事会、広報・会員増強委員会
- 27日(火)・28日(水) 貯水槽清掃作業監督者(3月2日まで)

賛助会コーナー

冬の作業前に 話題の耐水性ハンドクリーム

ウォータープルーフ

Made in Japan

1日2回の耐久性

●使用例

- ・剥離作業の前に
- ・酸性洗剤の使用時に
- ・水仕事の前に
- ・シーツ交換作業
- ・機械油を扱う前に
- ・ニオイがつく作業に

プロテクトX1 エックスワン



東栄部品株式会社

事務局だより

◇新入会員キャンペーンについて

日本では極めて長い歴史を持つ企業やお店を「老舗」と言いますが、このような単語は外国ではあまり使われていないようです。例えば神社仏閣の建築をビジネスにしている「金剛組」は1400年以上の歴史を持つ世界最古の企業であることは有名なところで、日本には江戸時代から続いている会社が3,000社もあり、この長寿企業の多くが地域に根付いたローカル企業という特徴があります。53年以上の歴史を誇る当協会も、昨年の10月から「会員増強キャンペーン」として、新入会員を増やし、組織の基盤強化が進められております。人手不足など厳しい経営環境の中ではありますが、愛知県のお互いに協力し合い、新たなチャレンジを推奨する良き風土を活かし、少しでも多くの新入会員の方を迎え入れ、地域に欠かせない「老舗」協会を目指していきたいものです。皆様方のご協力よろしくお願い致します。